

宇宙産業ビジョン（骨子たたき台）

- 1 宇宙産業をめぐる内外の情勢
 - 1.1 海外の宇宙産業の新たな動き／世界的なパラダイムシフト
 - 1.2 我が国の状況
 - 1.3 新たなフロンティアとしての宇宙産業

- 2 宇宙産業の方向性
 - 2.1 宇宙利用の拡大
 - 2.2 宇宙産業の将来姿

- 3 宇宙産業の直面する課題
 - 3.1 宇宙利用産業の課題
 - 3.2 宇宙機器産業の課題
 - 3.3 新たな領域の課題

- 4 宇宙産業の振興に向けた分野別取組
 - 4.1 宇宙利用産業の振興
 - 4.1.1 継続性のある衛星データの整備
 - 4.1.2 衛星データへのアクセシビリティの向上（衛星データの所在明確化、政府衛星データのオープン&フリー）
 - 4.1.3 衛星データの利活用促進（データベース基盤、政府によるユーザー利用、宇宙開発利用大賞、実証事業、リモートセンシング戦略）
 - 4.2 宇宙機器産業の振興
 - 4.2.1 継続的な衛星開発（シリーズ化）
 - 4.2.2 国際競争力の確保（新型基幹ロケット（H3）、部品・コンポーネント戦略、調達制度、技術開発、調査企画能力）
 - 4.2.3 新規参入者への支援（軌道実証機会の充実、射場、リスクマネー）

5 海外展開

5.1 海外展開の新たな取組

6 新たな宇宙ビジネスを見据えた環境整備

6.1 人材

6.2 制度整備（欧米の動向、軌道上補償、資源探査）

7 結語